

YOUNG BLOOD

安全・絆・飛躍

2012年6月29日発行

J R 連合青年・女性委員会

第17回ユースラリーを開催!!

～全国の仲間と心をひとつに～



J R 連合青年・女性委員会 幹事 高橋 佳昌

平成24年5月26日（土）～28日（月）、
J R 北労組を準備単組に、北海道の洞爺湖・登別・札幌周辺で第17回ユースラリーを開催！
北海道から九州まで J R 連合に集う全国の仲間
110名超が集まり大いに盛り上がりました！！

開催当日は、新千歳空港に集合後、バスで初日のイベントと宿泊先の「洞爺少年自然の家」へ移動。10チームに別れ自己紹介や2泊3日のグループ行動への心合わせを行いました。また、移動の車中では、J R 北労組が作成した北海道を紹介する映像が流れ、ユースラリー気分は一気に盛り上がりました。

芝生の上での開会式では、堂屋敷議長の挨拶の後、ご来賓の坪井会長と田原執行委員長（J R 北労組）からの激励ののちイベントがスタートしました。



堂屋敷議長あいさつ

最初のイベントは「えぼし岩の頂上で愛を叫べ！！」

標高差200メートル上のえぼし岩まで、本気の急斜面に汗を流しつつクイズやミニゲームを楽しみながらのウォークラリーでした、山頂から望む洞爺湖は格別で、各チーム様々な愛？を叫んでいました♪



めざせ頂上！！



頂上についたら…



愛を叫べ～☆

夕食交流会では、マキ割り、火起こしから、調理までをチームで行いました。みんなで協力して作ったジンギスカンやカレーの味は格別！！チームの心も一つに楽しい時間を過ごしました☆



薪割り～



カレー作り



うまいっ☆

2日目は、「来たキタ北の大地☆ウォークラリー～人はどこまで歩けるのか～」を開催。JR 7単組各10問ずつ70問のクイズに挑戦し、初日に獲得した得点により、グループ毎に、室蘭駅・母恋駅をスタートし徒歩で地球岬を目指しました。

前日の登山に続いてのウォークラリーでしたが、みんな元気！岬に近づくにつれ見えてきた海や、内浦湾越しに見える函館方面の景色を楽しみながら地球岬に到着し、快晴の下、弧を描く水平線とまるで絵に描いたような絶景をバックに集合写真を撮影しました！



出発☆



地球岬へ到着！



集合写真♪

その後、バスにて移動し、登別編がスタート！ここでは、温泉街を散策しつつ、予め指定されたポイントでチームで写真を撮りながら、この付近を逃走する凶暴な(?) 実行委員5名を捕まえジャンケンをしてポイント獲得！参加者の「横のつながり」がより深まりました☆



登別を散策☆

2日目の宿泊先へ移動するバスの中では、石勝線事故発生から1年目の日にあたり、安全学習会を開催。事故の悲惨さや安全の重要性を考え、「労働組合として、JR連合として安全を確立するには何が必要か？」をディスカッションしました。

ホテルでの交流会は、当日誕生日を迎えたJR北労組斎藤幹事へサプライズでのバースデーケーキプレゼントや、ご多忙の中駆けつけて頂いた三日月大造衆議院議員の激励の挨拶で盛り上がる中、各チームの順位が発表され、持ち寄ったお土産を賞品に表彰が行われました。



交流会♪



三日月衆議院議員も駆けつけてくれました☆

最終日は、民主化闘争完遂に向けた具体的な行動として、札幌市内3か所に別れて、国鉄改革の負の遺産、JR北海道の民主化達成に向けたビラ配りを行いました。

終了後、安全・民主化学習会を開催し、究極の安全の確立には労組の垣根を越える必要がある。現状では労々問題が足かせになっている。安全に真剣に取り組まない組織に任せられない。等の意見で、安全の確立には北海道の民主化が必要との思いを全体で確認し、今回のユースラリーの幕は閉じました。



ビラ配布行動を展開



学習会！
井形事務長による課題提起



それぞれの思いを発表



斎藤幹事（実行委員長）による閉会あいさつ



全国の仲間と心をひとつに♪